

中高生の居場所とするための取り組み「中高生会議」

取組の背景・目的

- ・中高生の来館はあるものの、皆からの意見を聞く場がなかった。そのため中高生が「自分達の児童館」という認識が薄いように感じていた。
そこで中高生の意見を聞き、どういう児童館にしたいのかを聞いてみることにした。

取組の概要

【実施場所】 清瀬市中央児童館

【実施頻度】 年3回程度

【職員体制】 常勤職員2名

【実施方法】

- ・児童館指定管理者 児童館職員が実施
- ・児童館のルールで変更してもらいたいことを話し合う。(参加者がいない場合は延期)
- ・やってみたいこと、購入してほしい遊具、本などを聞く。意見が出た場合は実現可能にするための話し合いを深めていく。

工夫点・留意点

- ・普段の中高生来館者が少ない為、事前に会議があることを伝えておく。
 - ・中高生の希望を聞くと同時に児童館からの要望やメッセージも会議の中で伝える。
- ※サッカーボール以外のボールは蹴らないことや、携帯電話の使い方の注意事項など。

取組の効果

会議に出席した子供達はしっかりと意見を話してくれ、そこで決まったことや検討に入った購入物などがあり、一部の子達は児童館が使いやすくなったと話してくれている。

課題・今後の展開

会議がまだ根付いていないため継続しての出席者がいない状態。
会議の回数を増やしたりネーミングを変えたりするなど、参加しやすい雰囲気づくりをおこない参加者を増やしていきたい。